

相続税の修正申告書 (続)

○フリガナは、必ず記入してください。

第1表 (続) (平成28年分以降用)

(注) ②欄の金額が赤字となる場合は、②欄の左端に△を付してください。なお、この場合で②欄の金額のうちに贈与税の外国税額控除額(第11の2表⑨)があるときの②欄の金額については、「相続税の申告のしかた」を参照してください。

○この申告書は黒ボールペンで記入してください。

		財産を取得した人			財産を取得した人			
フリガナ								
氏名		④			④			
個人番号又は法人番号		↓個人番号の記載に当たっては左端を空欄とし、ここから記載してください			↓個人番号の記載に当たっては左端を空欄とし、ここから記載してください			
生年月日		年 月 日 (年齢 歳)			年 月 日 (年齢 歳)			
住所 (電話番号)		〒 (- -)			〒 (- -)			
被相続人との続柄								
職業								
取得原因		相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与			相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与			
※整理番号		□□□□□□□□			□□□□□□□□			
区分		① 修正前の課税額	② 修正申告額	③ 修正する額 (②-①)	④ 修正前の課税額	⑤ 修正申告額	⑥ 修正する額 (⑤-④)	
課税価格の計算	取得財産の価額 (第11表③)	①	円	円	円	円	円	
	相続時精算課税適用財産の価額 (第11の2表1⑦)	②						
	債務及び葬式費用の金額 (第13表3⑦)	③						
	純資産価額 (①+②-③) (赤字のときは0)	④						
	純資産価額に加算される暦年課税分の贈与財産価額 (第14表1④)	⑤						
	課税価格 (④+⑤) (1,000円未満切捨て)	⑥	,000	,000	,000	,000	,000	
各人の算出税額の計算	法定相続人の数及び遺産に係る基礎控除額	△						
	相続税の総額	△						
	一般の場合 (⑩の場合を除く)	あん分割合 (各人の⑥) (A)	⑧					
		算出税額 (⑦×各人の⑧)	⑨	円	円	円	円	円
	農地等納税猶予を受ける場合	算出税額 (第3表⑬)	⑩					
	相続税額の2割加算が行われる場合 (第4表1⑥)	相続税額の2割加算金額	⑪	円	円	円	円	円
各人の納付・還付税額の計算	税額控除	暦年課税分の贈与税額控除額 (第4表の2⑬)	⑫					
		配偶者の税額軽減額 (第5表⑮又は⑯)	⑬					
		未成年者控除額 (第6表1⑱、⑲又は⑳)	⑭					
		障害者控除額 (第6表2⑱、⑲又は㉑)	⑮					
		相次相続控除額 (第7表㉒又は㉓)	⑯					
		外国税額控除額 (第8表1⑳)	⑰					
	計	⑱						
	差引 (⑨+⑱-⑳)又は(⑱+⑲-㉑) (赤字のときは0)	⑲						
相続時精算課税分の贈与税額控除額 (第11の2表⑳)	⑳	00	00	00	00	00		
医療法人持分税額控除額 (第8の4表2B)	㉑							
小計 (⑲-⑳-㉑) (黒字のときは100円未満切捨て)	㉒							
農地等納税猶予税額 (第8表2⑦)	㉓	00	00	00	00	00		
株式等納税猶予税額 (第8の2表2⑩)	㉔	00	00	00	00	00		
山林納税猶予税額 (第8の3表2⑧)	㉕	00	00	00	00	00		
医療法人持分納税猶予税額 (第8の4表2A)	㉖	00	00	00	00	00		
申告納税額 (㉒-㉓-㉔-㉕-㉖)	㉗	00	00	00	00	00		
申告期限までに納付すべき税額 (㉒-㉓-㉔-㉕-㉖)	㉘	△	△		△	△		

※の項目は記入する必要はありません。

年分	名簿番号	補完番号	補完番号
検算印	管理補完	確認	管理補完